

プロジェクト科目 議事録

2006年 12月 4日提出

プロジェクト科目 テーマ名	
小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 B	学生 ID -
日時	2006年 12月 1日(金) 15:00 ~ 17:00
場所	寧静館501
議題	11月30日の小学校との企画会議報告に基づいた企画内容の詰め Web作成について
参加者	A、B、C、D、E、G、H、T
記録	
〔使用機材〕 会議撮影用ビデオカメラ、PC、プロジェクター、スクリーン	
【会議の流れ】	
1、昼会議より	
2、具体的な企画内容の詰め	
① 正座について	
② 児童挨拶について	
③ 「閉会式」の配置について	
④ 「報告会」について	
⑤ 事前学習プリントとポスターについて	
⑥ その他	
3、Webサイト製作について	
4、諸連絡	
【会議の内容】	
1、昼会議より	
昼会議で話し合われた、小学校との企画会議報告に基づいた問題点と、今後のタスクが報告された。	
・ プログラムの「開会式」と「閉会式」の児童挨拶について	
能プロとしては、「開会式」と「閉会式」はともに、7月のWSで児童挨拶を含めて5分で済んだので、今回も同じ形で想定していたところ、小学校側より、「開会式は短いので入れられなくても、閉会式は多少なりとも時間の融通が利くため、児童挨拶を入れてほしい。可能なら開会式にも入れてほしい」との意見を頂いた。	
→開会式の児童挨拶はどうするか？	

・ プログラム3「観察」と「体験」の際の敷物について

能プロが当初予定していた敷物は「ござ」であったが、小学校側より「ござは座ると痛いし、運搬が困難ではないか」と指摘があり、代替案として体育用マットの使用を提案された。しかし、マットは枚数がかさみ、片づけが大変だと考えられる。よって、容易に片付けることが可能な絨毯(のようなもの)を用意できれば「正座」、できなければ「床に体育座り」はどうかと話し合った。

保護者の対応に関しては、休憩用椅子を用意するが、基本は立っていただくことになった。

→絨毯は用意可能か？他に代替案はあるか？

・ 配置図について

「開会式」と「仕舞鑑賞」は左端の図、「観察」と「座談会」は真ん中の図、「体験」と「報告会」は右端の図を予定している。(企画書2ページ目の配置図参照)

→「閉会式」はどの配置にするか？(「開会式」・「仕舞鑑賞」と同じ配置でよいか？)

・ プログラム4「報告会」について

15人一度に体験内容の報告を行う予定である。

→もっと細かな実施内容は？

・ 能楽師用企画書について

→今ある企画書は小学校向けなので、能楽師向けに細かく体験における達成目標などを明示した企画書を作るために、その詰め作業を行う。

・ 事前学習プリント等持参日(12月13日から15日の間を予定)には、事前学習プリントの他に、ポスター、「開会式」・「閉会式」の児童挨拶についての決定事項、絵日記のプリントも持参予定である。

・ 能楽師にあらすじを見ていただく日程について

→当初12月7日から9日を予定していたが、能楽師の予定を加味し、4日から6日の間に変更する。

・ 撮影の外部協力依頼について

→12月に入ったため、撮影の外部協力者の依頼を開始する。企画内容等を、事前に打ち合わせることも必要である。

・ 小学校側より要望のあった、7月のWSを含めた「編集済みDVD」については、WS後の総括・データ編集時に対処する。

○逆に小学校側が撮影したWSのビデオや写真はいただけないか？

※ ここで、Tより「小学校側の反応を一言で表すと？」との質問があり、Eが「不安になるくらい肯定的だった」と答えた。また、3-B担任が「観察」に興味をもっていたことなどが報告され、学務主任の講演の内容のポイントを抑えたことでよりよいプレゼンをすることができたなどの話があり、会議室内がやわらかい雰囲気になる。

2、具体的な企画内容の詰め

① 正座について

D) 敷物は、どのくらいの大きさが必要だろうか。リース業者をあたれば見つかるかもしれない。

A) 複数の業者にリサーチをかけてみて、年内に用意の見通しが立たなければ使わないことにしよう。

(敷物の形によっては、児童がその中におさまるように並び方を工夫してもらうことも必要である。その後、リースすることも視野に入れて予算の話になる。)

H) 予算は、Web制作費とあわせて10万円ほど残っている。

(現時点では、今後、どのくらいの予算が必要になるかまだ分からないので、リース代について一度調べる必要があるとされた。しかしその後、敷物は使用しないことになった。)

<敷物が必要でない理由>

- ・ 10分程度しか使わないのでは採算が合わない。
- ・ もともと椅子を片付ける時間がないという理由で導入を決めたのに、片付けに手間がかかるようでは本末転倒だ。

⇒以上の理由より、敷物は使用しないことに決定した。

☆ ただし、敷物なしで床に正座をしてもらうかどうかについては、保留となった。

② 児童挨拶について

<開会式について>

「開会式」での児童挨拶を想定していたのはメンバーのうち3人ほどであったが、7月のWS同様、今回も入れるべきでは、という話になる。

E) 小学校側によると、「開会式」では7月のWSと同じように、一言程度の挨拶でもよいらしい。しかし、「閉会式」では、ある程度時間をとって能楽師へのお礼をしっかりさせたいということのようだ。

○ 小学校側の要望も加味し、「開会式」にも児童挨拶を入れることにする。

T) 「開会式」では能楽師に挨拶をしていただくのか？

◎ 挨拶をしていただく場合、能楽師に前もってお願いしておかなければならない。
⇒ 「開会式」の次にすぐ「仕舞鑑賞」があるので、緊張した雰囲気を保つためにも、開会式では名前の紹介と一礼のみにとどめることになる。

☆ 開・閉会式の司会は、7月のWS同様Dが担当する。

☆ 開会式の内容は、能楽師の紹介、児童挨拶（1～2分）、WSのプログラム説明に決定する。

<閉会式の内容について>

G) 能プロからの挨拶を入れてはどうか。

C) 児童は自分が担当してもらっていない能楽師のことはよく分からないと思うので、あらためて能楽師全員から一言いただいてはどうか。

→ 1年間の報告を兼ねた能プロからの挨拶と、能楽師からの挨拶を入れることが決定する。

D) Webサイトの告知をしてはどうか？→採用

また、WSは今回で最後なので、7月WSの映像や、舞台裏の様子等の映像を流すのはどうか？→具体的な演出に関わってくるので、保留となる。

☆ 閉会式の内容は、能プロからの挨拶、能楽師の挨拶、児童挨拶、Webサイトの告知に決定する。

<閉会式の所要時間について>

「閉会式」の所要時間については、小学校側から「延びてもかまわない」との許可を頂いている。しかし、15:30から職員会議があるので、長時間の延長は出来ない。「閉会式」の流れを組みたいが、現時点では児童挨拶にどの程度時間が必要か分からないので、「閉会式」の内容について小学校側とどのように調整するかという問題が浮上した。

そこで、Tから助言があった。

T) こういう場合は、スケジュールは時間通り立てておかなければならない。結果として多少延びてしまうのは仕方ないが、タイムテーブル上はきっちりと時間を守るべきである。例えば、「児童挨拶は5分でお願いします」などとはっきり示さなければ小学校側もどう時間を使えばいいのか分からない。逆に、小学校側に「〇分でお願いします」と伝えて、残りの時間でこちらがどうするか、と考える方法もある。

しかし、当初「閉会式」の所要時間は5分と想定していたので、この時間内に今回決定した内容をおさめるのは厳しそうである。そのため、「閉会式」の時間をいかに捻出するかについて話し合ったが、休憩時間や「座談会」の所要時間を短縮するのは実質不可能で、14:50に終了するという現在の時間設定では無理があるとの話になる。

A) 能プロ側としてはこれだけの内容を取り入れたいが、児童挨拶を入れるとどうしても時間が延びてしまう。やはりWS全体の時間延長を小学校側に打診してみよう。

☆ WSにあと5分いただけないか、Dが小学校側に打診してみることになる。

③ 「閉会式」の配置について

☆ 「閉会式」・「仕舞鑑賞」と同じ配置にすることに決定する。

④ 「報告会」について

A) 15人が一度に報告する、という方法に対して小学校側の反応はどうだったか？

E) 少し分かりにくそうな印象だった。

A) 「報告会」では、司会Dが「このグループはどんな動きを覚えてもらったのかな？」などと促し、担当の能楽師と児童15人がその場で立って習った動きを披露して、他の児童は座ったままそれを見学するという流れを想定している。そのことを小学校にさらに詳しく説明する必要があるようだ。

・ 「報告会」の所要時間と内容について

→児童が報告しあうのは「体験」で習った動き（仕舞の一部）だが、能楽師の教え方によって、各グループの動きの長さがバラバラになってしまう可能性がある。

A) 能楽師に対して「だいたい何秒でお願いします」と長さを指定してはどうか。

◎ そのためにはビデオで研究する必要がある。

→能楽師に、お願いしていた『殺生石』と『鐘馗』のビデオを督促する。(> 担当E)

T) こういう頼みごとをする時は、期限をはっきりと伝えなければいけない。

☆ 火曜(5日)4限の会議までにビデオを受け取り、会議中に鑑賞しながら内容を考えることになる。

⑤ 事前学習プリントとポスターについて

・ ポスター

前回WS同様、広報・Gが作成する。

- ・ 事前学習プリントに記載する『殺生石』と『鐘馗』のあらすじ
Eが作成する。
→完成したあらすじはe-classにアップするが、全員の確認を待つ必要はない。
→来週6日までに能楽師に送信し、監修をお願いする。(訂正後のあらすじもe-classにアップする。)

※ 事前学習プリント全体のレイアウトはAが考える。

- ※ プリントに記載する項目については、7月WSの事前学習プリントを参考にする。
→あらすじ・基礎知識・能楽師への質問を考える際のヒントになるようなもの(観世流能楽師aに、サイトに載っていた「能楽師の一日」を転用可能か打診する>担当E)・児童と保護者が一緒に考えられるような内容を盛り込む。
→あらすじ以外はAが担当し、アナログの絵とともに次回会議にサンプルを持参し、13～15日に小学校に持参できるようにする。

⑥ その他

- ・ 絵日記について
7月との比較が出来るという意見から、「絵日記」を採用することに決定する。
→テンプレートは7月のものを転用する。
- ・ 撮影の外部協力依頼について
→最低4人の協力者が必要である。>Bが学内映画サークルに打診する。
- ・ マスコミ広報について
T) 年始のWSなので、マスコミが忙しくあまり集まらないのではないか。しかし、某出版社(大学紹介の雑誌を製作している会社)が取材に来るかもしれないそうだ。
A) まだ小学校側からマスコミの取材許可をいただいていない(>Dが学務主任に問い合わせる)。許可がとれたら、広報課を通じてプレスリリースをしよう。

3、Webサイト製作について

- A) Webサイトに載せる素材のタスクを割り振りたいが、先に素材の項目を全体で決めたほうがよいか?
→先に全体で話し合うと時間がかかるので、土日間にAがWebに載せる素材の項目を考えてe-classにアップし、月曜までにメンバーが確認と訂正をする、ということになった。

4、諸連絡

- ・ 1月23日13時からのプロジェクト科目最終成果報告会には基本的に全員参加すること。
→Dは不参加の予定。
- ・ 振り返り会と懇親会について
→1月28日（日）に、振り返り会として各メンバーが1年間のプロジェクト活動の自己評価をし、その後、懇親会を行うことになった。